

# 「よこはま小児がん経験者ドック」助成を開始・ 横浜市小児がんに関するアンケート結果を発表します！

小児期にがんの治療を受けた人（小児がん※<sup>1</sup>経験者）は、抗がん剤や放射線治療の影響などにより、若い頃から生活習慣病やがんの発症リスクなどが高くなる傾向があるということが分かってきています。疾患を早期に発見し、重症化を未然に防ぐためには、定期的な健診による健康管理を習慣づけ、継続することが大切です。

令和7年度から、健診の受診を後押しするため、横浜市立みなと赤十字病院において実施している、小児がん経験者用の健診メニュー「よこはま小児がん経験者ドック」を受診した場合の助成を開始します。

また、小児がん患者の治療・生活状況に関するニーズや課題等を把握し、本市のアンケートを行いましたので、その結果を報告します。

※1 小児がんとは

0歳から15歳までにかかる、さまざまながんの総称。

2020年に1年間にがんと診断された0歳から14歳の人数は、全国で2,080人、横浜市で49人。

## 1 「よこはま小児がん経験者ドック」の助成について

### (1) 対象となる方

18歳未満で小児がん（小児慢性特定疾病の対象疾病「悪性新生物」）を発症した、市内在住の40歳未満（基本項目受診日時点）の方

### (2) 助成対象費用

令和7年度4月1日以降に横浜市立みなと赤十字病院において「よこはま小児がん経験者ドック」基本項目を受けた場合 22,990円  
（オプション検査料等は対象外）

### (3) 助成開始時期

令和7年4月1日

### (4) 申請回数

1年度内に1回のみ申請可能  
（受診日における年齢が40歳に達するまで最大5回）

### (5) 申請期限

「よこはま小児がん経験者ドック」の基本項目受診に要する費用の支払日から1年以内

### (6) 申請方法

「よこはま小児がん経験者ドック受診費用助成金交付申請書（第1号様式）」（市ホームページからダウンロード可能）、「よこはま小児がん経験者ドック」の診療費通知書（領収証・診療費明細書）または料金明細書の書類のコピーを郵送



裏面あり



GREEN × EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



### <郵送先>

〒231 - 0005 横浜市中区本町 6 - 50 - 10

横浜市医療局がん・疾病対策課 小児がん経験者ドック助成担当 宛

### (7) 参考 よこはま小児がん経験者ドックの受診方法

ア 小児がんに対する治療を受けた病院に相談し、「よこはま小児がん経験者ドック コース・オプション提供書」の内容を決定してください。

※横浜市立みなと赤十字病院 健診センターのホームページに様式があります。

治療を受けた病院が提供書を発行できない場合は、横浜市小児がん連携病院にご相談ください。

イ 横浜市立みなと赤十字病院 健診センターに電話でご予約してください。

電話番号：045-628-6385（直通）

予約時間：平日 9：30 から 16：00

[みなと赤十字 健診センター](#) **検索**

## 2 横浜市小児がんに関するアンケート報告書について

### (1) 目的

小児がんの治療を受けたお子さんやそのご家族の治療・生活状況に寄り添った施策を実行することを目的に、今回のアンケートでニーズや課題等などの実態を把握することで、今後の本市の施策に反映します。

### (2) アンケート結果のポイント

#### 【治療・生活】

・治療を受けている・受けていた本人の生活の自立度については、「お風呂に入る」は約3割、「外出する」は約4割、「服薬管理」については5割以上が「手助けが必要」「できない」との回答。

#### 【外来治療】

・治療や福祉サービス等の情報の入手手段は、「インターネット（83件）」、「通院している病院の医療関係者（77件）」、「保護者同士（32件）」、「SNS（17件）」などでした。（複数回答）

#### 【入院治療】

・入院治療中の問題点では、「本人の精神的な影響（82件）」、「きょうだい児への影響（70件）」、「学業や就職への影響（56件）」などでした。（複数回答）

#### 【長期フォローアップ】

・成人期医療に移った際に、病院に希望することでは、「小児がん治療を受けた病院からのしっかりした引継ぎ・情報共有」が一番多く望まれていました。（自由記述から集計）

#### 【医療体制】

・小児がんの治療を受けた病院で充実してほしいことは、「こども目線での治療環境（65件）」、「精神的なケア（62件）」、「保育・教育サービス（59件）」や「付き添い家族へのサービス（きょうだい預かりなど）（56件）」でした。（複数回答）

・チャイルド・ライフ・スペシャリスト（CLS）、こども療養支援士（CCS）、ホスピタル・プレイ・スペシャリスト（HPS）による小児がん診療における関与の必要性については、9割以上必要との回答がありました。

・小児がんについて、社会でどのような支援や配慮が必要だと思うかとの問いには、「社会、学校、職場の理解・支援（30件）」、「経済的支援（17件）」、「学業（学習）支援（16件）」などの声が寄せられました。（自由記述から集計）



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(3) 今後の方向性について

調査結果を踏まえ、横浜市小児がん連携病院<sup>※2</sup>と連携し、入院・外来・長期フォローアップなどの医療の充実や、理解促進のための動画などを活用した市民の方への広報活動、小児がんの治療を受けたお子さんやそのご家族に寄り添った情報発信など、小児がん対策の取組を一層推進します。

令和7年度は、メタバースを活用して、小児がんの治療を受けたお子さんやそのきょうだいの居場所づくりや保護者の方の悩みや不安を分かち合うための保護者会やカウンセリングを実施する予定です。

(4) 調査方法

<b>調査対象</b>	① 小児がん患者の保護者 ② 小児がん治療後の長期フォローアップ受診者または保護者 ③ 中学生以上の小児がん患者本人
<b>調査方法</b>	・小児慢性特定疾病医療受給者証の年度更新のタイミングに、対象疾病が「悪性新生物」の方の保護者宛てに質問票の二次元コードを郵送（437件） ・横浜市小児がん連携病院 <sup>※2</sup> で案内
<b>調査期間</b>	令和5年10月11日～令和6年10月31日
<b>回答方法</b>	横浜市電子申請・届出システムでの回答（任意回答）
<b>回答数</b>	① 小児がん患者の保護者 101件 ② 小児がん治療後の長期フォローアップ受診者または保護者 28件 ③ 中学生以上の小児がん患者本人 20件

※2 横浜市小児がん連携病院とは

小児がんにおける診療体制の充実や相談支援体制の構築を図るために、小児がん診療に実績のある病院を横浜市が指定しています。

病院名	住所
神奈川県立こども医療センター	南区六ツ川2-138-4
済生会横浜市南部病院	港南区港南台3-2-10
横浜市立大学附属病院	金沢区福浦3-9

裏面あり

お問合せ先

医療局がん・疾病対策課長 三室 直樹 Tel 045-671-2957



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



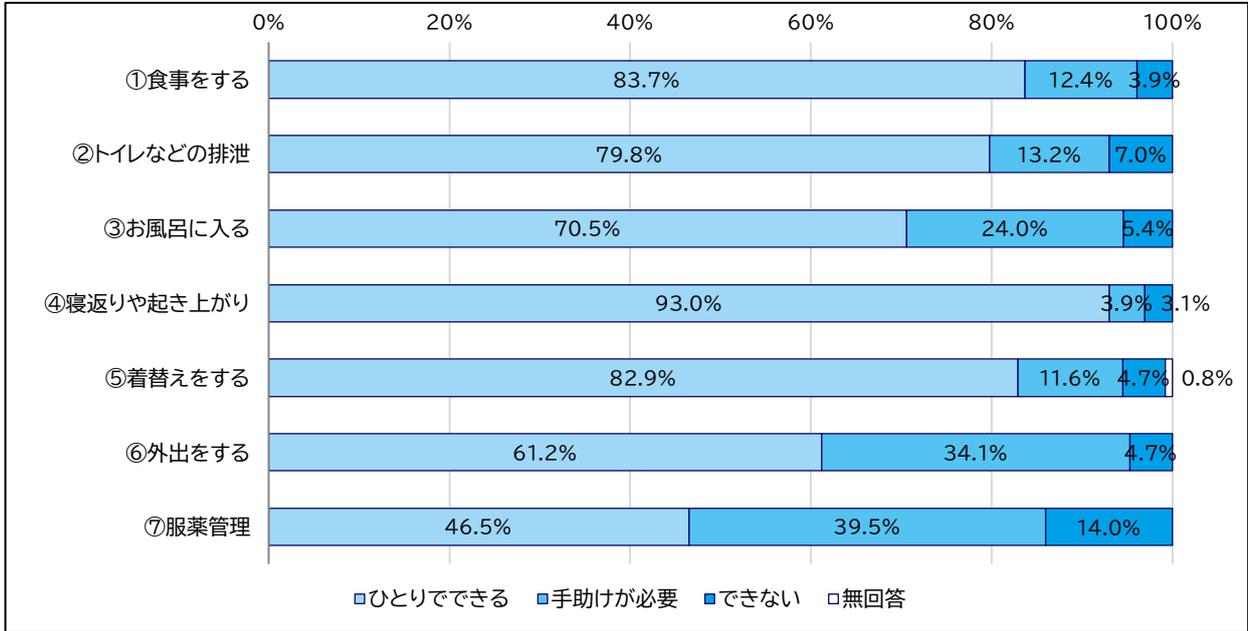
横浜市小児がんに関するアンケート報告書抜粋

①小児がん患者の保護者②小児がん治療後の長期フォローアップ受診者または保護者へのアンケート

◇ 治療を受けている・受けていた本人の生活の自立度

「手助けが必要」「できない」の合計

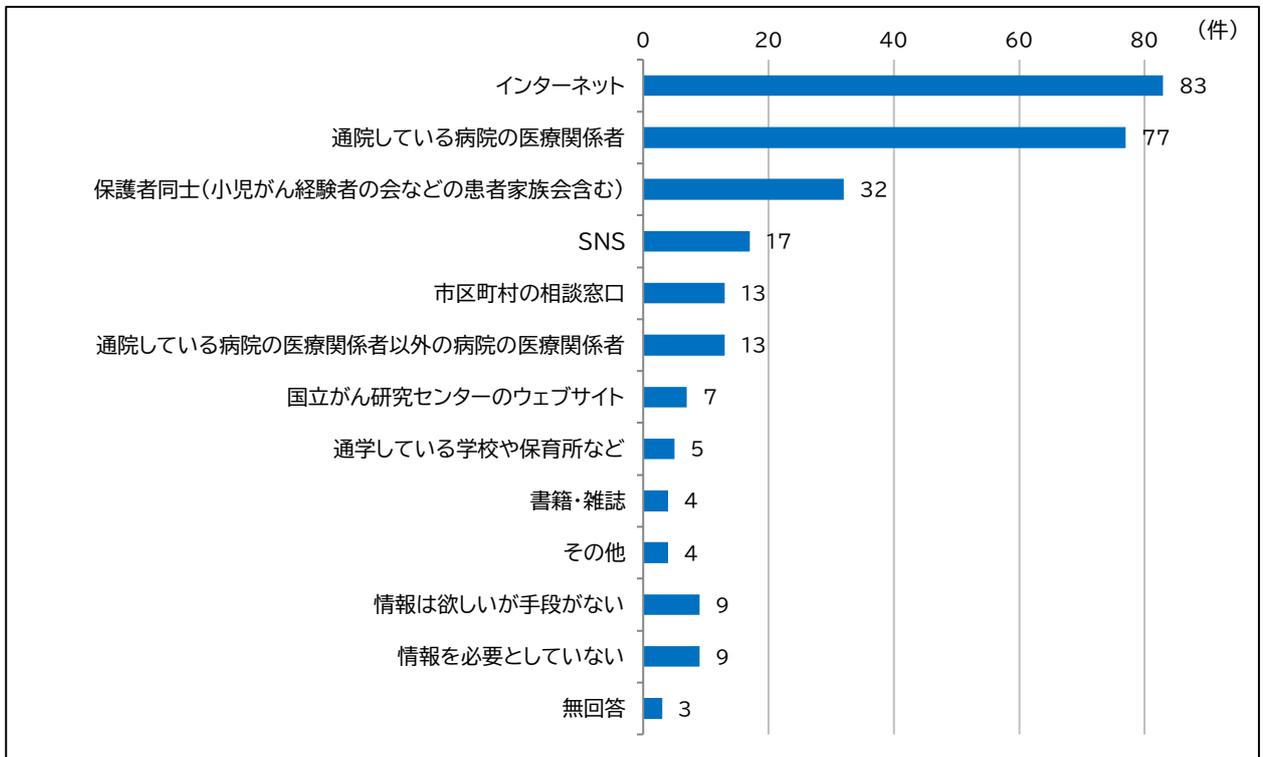
「服薬管理」 53.5% 「外出をする」 38.8% 「お風呂に入る」 29.4%



◇ 治療や福祉サービス等の情報の入手手段【複数回答可】

「インターネット」 83 件 「通院している病院の医療関係者」 77 件

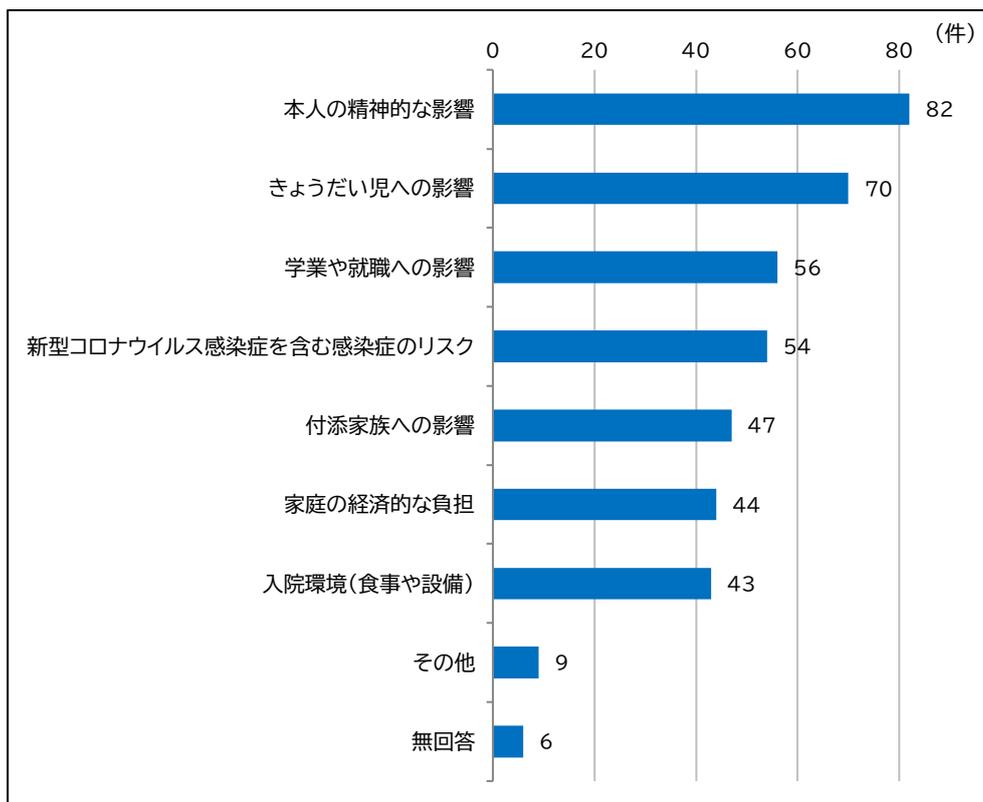
「保護者同士（小児がん経験者の会などの患者家族会含む）」 32 件



### ◇ 入院治療中の問題点【複数回答可】

※有効回答の内訳を表示（「小児がん治療のために入院したか」の問で「入院中・入院した」と回答した人への質問）

「本人の精神的な影響」82件 「きょうだい児への影響」70件 「学業や就職への影響」56件

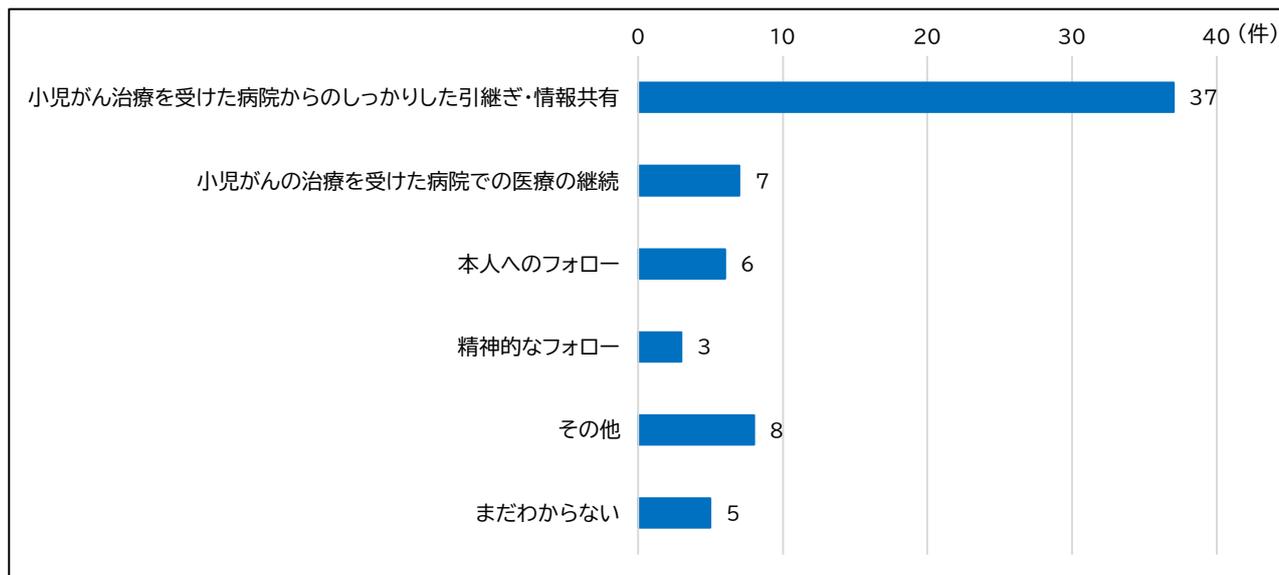


### ①小児がん患者の保護者へのアンケート

#### ◇ 成人期医療に移った際に、病院に希望すること【自由記述】

「小児がん治療を受けた病院からのしっかりした引継ぎ・情報共有」37件

「小児がんの治療を受けた病院での医療の継続」7件 「本人へのフォロー」6件



※記入のあったアンケートの件数は60件。各意見を上記項目に振り分けています。

複数の項目にまたがる意見が記入されている場合は、それぞれの項目ごとにカウントしています。

裏面あり



**GREEN x EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

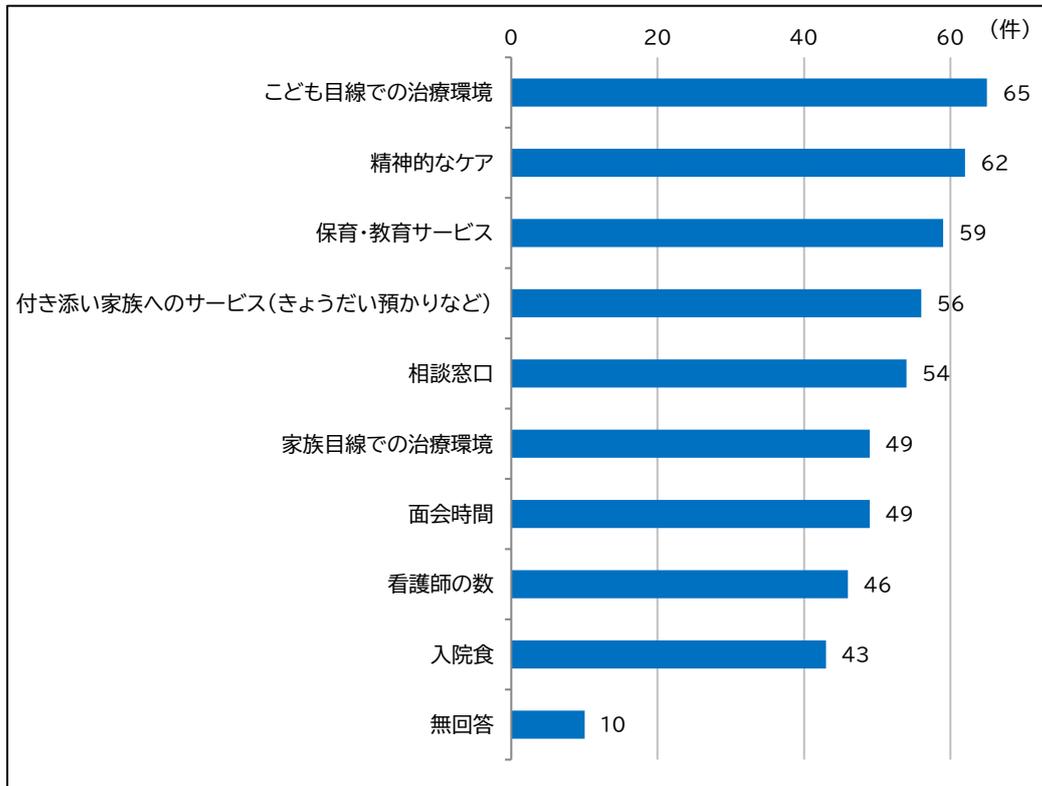
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



①小児がん患者の保護者②小児がん治療後の長期フォローアップ受診者または保護者へのアンケート

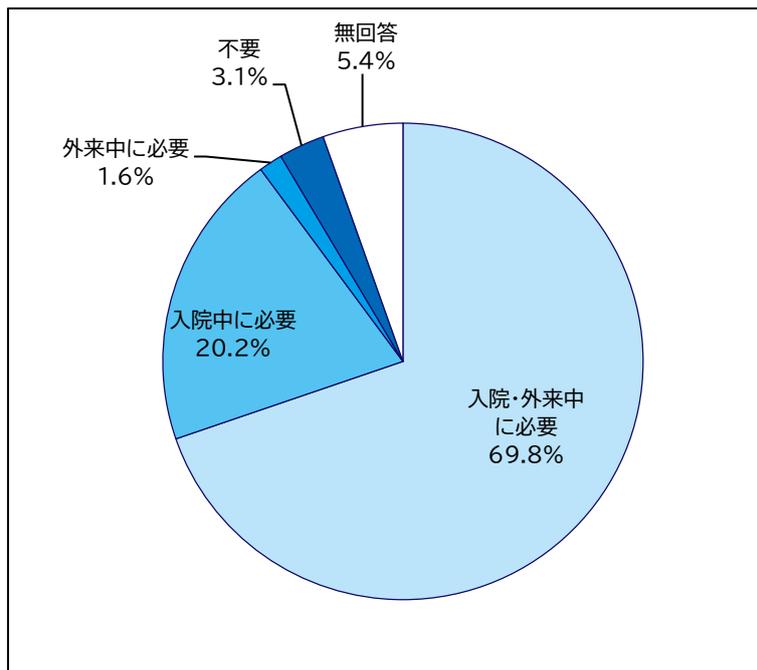
◇ 小児がんの治療を受けた病院で充実してほしいこと【複数回答可】

「こども目線での治療環境」65件 「精神的なケア」62件 「保育・教育サービス」59件



◇ チャイルド・ライフ・スペシャリスト（CLS）、こども療養支援士（CCS）、ホスピタル・プレイ・スペシャリスト（HPS）による小児がん診療における関与の必要性

「入院・外来中に必要」69.8% 「入院中に必要」20.2% 「外来中に必要」1.6% 計91.6%



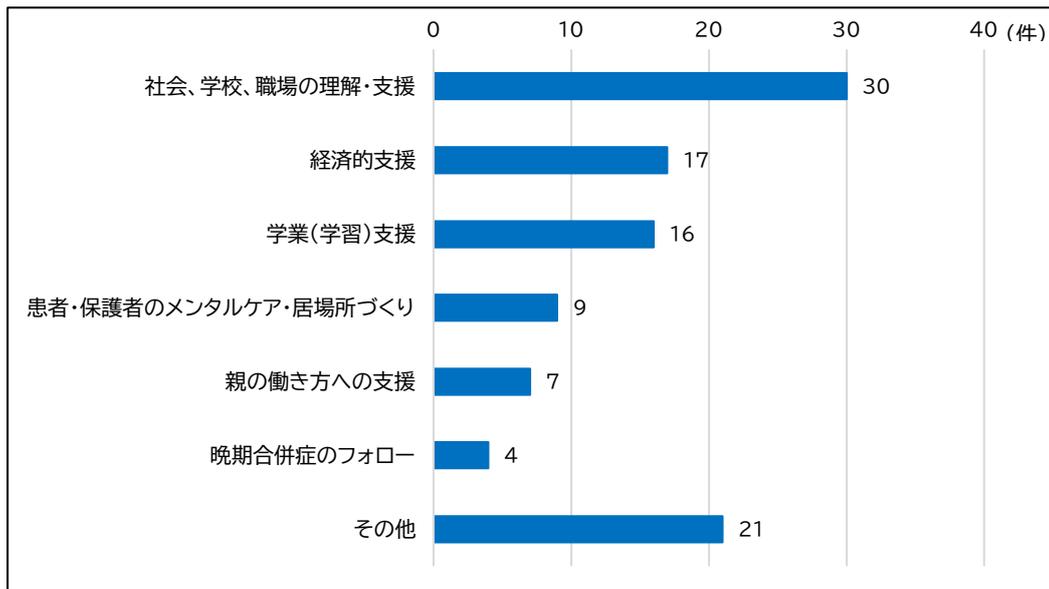
**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



◇ 小児がんについて、社会でどのような支援や配慮が必要だと思うか 【自由記述】

「社会、学校、職場の理解・支援」30件 「経済的支援」17件 「学業（学習）支援」16件



※記入のあったアンケートの件数は82件。各意見を上記項目に振り分けています。  
複数の項目にまたがる意見が記入されている場合は、それぞれの項目ごとにカウントしています。



**GREEN × EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

